

平成 29 年度

帯広市交通安全実施計画実績報告

平成 30 年 11 月

帯 広 市

目 次

1	平成 29 年度において市が講じた事業について	
1	交通安全教育及び広報活動の充実	1
2	道路交通環境の整備	4
3	救助・救急活動の充実	8
4	被害者支援の推進	9
2	交通安全対策の実施状況	
1	交通安全教育及び広報活動の状況	10
2	道路交通環境の整備	12
3	救助・救急活動の状況	15
4	被害者支援の状況	18

1 平成29年度において市が講じた事業について

1 交通安全教育及び広報活動の充実

(1) 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施 ・登下校時における立哨指導の実施 4箇所（帯広小学校、花園小学校、大空小学校（2箇所）） ・ビデオ、DVD等の貸与による交通安全の啓発 ・交通安全街頭指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> 新入学児童交通安全指導 高齢歩行者等交通安全街頭指導 ・交通安全研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者ドライビング体験会 老人クラブ交通安全推進員研修会 高齢者交通安全研修会 交通安全推進委員研修会 	16,614

(2) 効果的な交通安全教育の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全教育推進事業（再掲） <ul style="list-style-type: none"> 1P (1) 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進と同じ 	16,614 の一部

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

単位：千円

平成29年度実績		決算額
○交通安全運動推進事業		8,384
・交通安全運動の実施		
交通安全のぼり掲出	4月1日～10月31日	
春の全国交通安全運動	4月6日～4月15日	
交通安全学校訪問	7月3日～7月5日	
夏の交通安全運動	7月11日～7月20日	
飲酒運転根絶の日	7月13日	
高齢者無事故でスマイル運動	8月1日～10月31日	
交通事故死ストップ十勝百日作戦	9月1日～11月30日	
高齢者家庭訪問運動	9月1日～11月30日	
交通安全農協訪問	9月11日	
帯広市交通事故抑止総決起大会	9月14日	
秋の全国交通安全運動	9月21日～9月30日	
全市一斉街頭啓発	10月6日	
冬の交通安全運動	11月11日～11月20日	
道民交通安全運動の日	毎月15日	
自転車安全の日	毎月第1・3金曜日	
・交通安全街頭指導の実施		
新入学児童交通安全啓発	4月6日～7日、11日～14日	
高齢歩行者等交通安全街頭啓発	4月11日、7月12日、9月26日、 11月14日	
・交通安全研修会の開催		
高齢者ドライビング体験会	5月28日、9月22日、 1月27日	
老人クラブ交通安全推進員研修会	6月20日	
高齢者交通安全研修会	7月27日	
交通安全推進委員研修会	2月14日	
・交通安全広報啓発活動		
帯広市安全安心ニュース（ブログ）	—	
帯広市広報	—	
交通死亡事故発生時広報啓発	—	

(4) 交通の安全に関する民間団体等の主体的活動の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全運動推進事業 ・補助事業の実施 帯広市交通安全推進委員連絡協議会 帯広市交通安全協会	8,384 の一部

(5) 市民の参加・協働の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全運動推進事業（再掲） 2P (3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進と同じ	8,384 の一部
○地域連携見守り活動推進事業 ・学校・家庭・地域が連携し、登下校時等、子どもの見守り活動の推進	2,036

(6) 冬季間における交通安全教育及び広報活動の充実

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全教育推進事業（再掲） 1P (1) 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進と同じ	16,614 の一部
○交通安全運動推進事業 ・各種広報媒体を活用した冬型事故の防止対策の充実	8,384 の一部
○交通安全運動推進事業 ・各道路管理者に対し、道路情報提供装置の整備促進の要請	※

(7) 踏切道における交通安全教育等の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全教育推進事業 ・交通安全教室等を通して、踏切道通行時の知識等の普及	16,614 の一部
○交通安全運動推進事業 ・踏切事故の要因、支障時における非常ボタン操作等の啓発	8,384 の一部

2 道路交通環境の整備

(1) 生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備

単位：千円

平成 29 年度実績	決算額
○生活道路整備事業	275,646
<ul style="list-style-type: none"> ・別府・空港南町西9号線 別府町南13線～空港南町南13線 L=195m、W=8.5m ・西11条南乙線 西11条南10丁目～南11丁目 L=180.7m、W=20m、補償 ・競馬場南・1号線 西14条～西15条南11丁目 L=293.08m、W=16m、補償 ・競馬場南・3号線 西15条南9丁目～南11丁目 L=247.8m、W=12m ・新工業団地・1号線 西24条～西25条北2丁目 用地測量、物件調査、用地、補償 ・市道現況調査 ・農村地区生活環境整備 川西地区・大正地区 L=1,167.47m 	
○帯広市通学路交通安全プログラムの推進 (通学区域管理業務)	※
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体が連携し、通学路の安全確保に向けた取り組みの推進 	
○交通安全対策特別交付金対象事業	27,562
<ul style="list-style-type: none"> ・区画線設置 L = 102,300m ・視線誘導標識設置 18基 ・道路照明灯設置 6灯 	
○交通安全施設整備事業	10,698
<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路や準幹線道路における歩道の整備 ・南26丁目西線 西6条～西7条南26丁目 L=153.43m、W=3.5～4.5m ・交通安全注意喚起看板の設置 10基 ・標識や信号機等の設置を警察を通じて公安委員会に要請 	※
○道路案内標識整備事業	216
<ul style="list-style-type: none"> ・道路標識の設置等 	
○街路樹維持管理業務	95,337
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の剪定や植樹柵の管理 	
○道路照明管理業務	99,976
<ul style="list-style-type: none"> ・道路照明灯の維持管理 	

(2) 高規格道路の活用促進による生活道路との機能分化

単位：千円

平成 29 年度実績	決算額
○広域道路整備促進事業	993
<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路の利用促進 	

(3) 幹線道路における交通安全対策の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○主要幹線道路整備促進事業 ・ 主要幹線道路整備要望活動 ・ 幹線道路網整備要望活動	※
○都市計画道路整備事業 ・ 木賊原通 西10条～西12条北5丁目 L=226.7m、W=18m ・ 青柳通 西8条南29丁目～西9条南30丁目、西8条南31丁目 L=228.4m、W=18m、用地、補償 ・ 学園通 西15条南41丁目～稲田町基線 用地測量、物件調査 ・ 大和通線 西16条～西17条南1丁目 L=186.79m、W=14m、物件調査、用地、補償 ・ 川西・稲田西2線線 西19条南42丁目～稲田町西2線 用地、補償	398,467
○道路ストック総点検事業（舗装） ・ 白樺通西甲線 L=310.0m×2車線（北側）、L=330.0m×2車線（北側） 舗装補修	36,731
○特殊舗装整備事業 ・ 打替 市道柏・東10条線外 延長3,462m	246,478
○オーバーレイ事業 ・ 市道富士・25号線外 延長3,018m	69,768
○道路側溝整備事業 ・ 昭和・3号線外 延長295m	37,292
○改築等による交通事故対策の推進 （生活道路整備事業） ・ 歩道等の交通安全施設の整備を推進	275,646 の一部

(4) 自転車利用環境の総合的整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○自転車・歩行者利用環境整備事業 ・ 自転車・歩行者道の路面標示、啓発サインの設置 栄通：啓発サイン4基 公園大通：路面標示4箇所	1,826
○自転車駐車対策事業 ・ 放置禁止区域、駐輪場の巡回・指導（土・日・祝日を除く週3日程度） ・ 長期放置自転車の処理	1,860

(5) 公共交通機関の利用促進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○地域公共交通網形成計画推進業務 ・地域公共交通網形成計画に基づきバス交通の利用を促進	241
○高齢者おでかけサポートバス事業 ・高齢者バス無料乗車証を交付 交付者数 21,027人分（平成30年3月末現在）	194,319
○生活交通路線維持確保事業 ・路線バスの維持をはかり、市民の交通手段を確保	94,697
○あいのりタクシー・バス運行事業 ・デマンド方式の乗合タクシー・バスを運行し、農村地区住民の交通手段を確保	25,582

(6) 災害に備えた道路交通環境の整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○地域防災広報・通信体制整備事業 ・気象情報等の収集 ・地域防災無線等の維持管理	4,341
○防災事務	146

(7) 総合的な駐車対策の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○市道管理業務 ・関係機関や団体と連携し、違法・迷惑駐車防止活動の実施 ・長期放置自動車の処置	※

(8) 交通安全に寄与する道路交通環境の整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○市道管理業務 ・道路占用許可物件の適正化指導及び不法占用物件の是正指導	※
○公園管理運営業務 ・都市公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境を確保	213,827
○街区公園整備事業 ・街区公園の整備により、子どもたちの遊び場等を提供	13,392
○児童保育センター管理運営事業 ・児童保育センターの運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を実施	667,918
○子どもの居場所づくり事業 ・放課後子ども広場の開催	6,759
○市道維持補修業務 ・道路パトロールや路面清掃など市道の維持補修	236,218
○橋梁維持補修業務 ・橋梁の維持補修により、安全な道路交通を確保	400
○道路法に基づく通行の禁止又は制限 (市道管理業務) ・災害等により交通に危険がある場合の、通行の禁止又は制限の実施	※

(9) 冬季道路交通環境の整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○市道除雪業務 ・車道の除排雪及び凍結防止対策や歩道除雪推進 ・除雪延長距離 1,351.7km ・市民協同（パートナーシップ）による除排雪の取組	1,256,084 (2,770)
○市道維持補修業務 ・中心市街地や公共施設、通学路の歩道除雪 ・坂道ロードヒーティングや滑り止め材の散布等の実施	236,218
○交通安全施設整備事業 (再掲) 4P (1) 生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備 と同じ	10,698 の一部

(10) 踏切道の改良及び踏切保安設備の整備等の推進

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○都市計画道路整備事業 ・鉄道事業者との相互連携を図り改良促進の実施	※

3 救助・救急活動の充実

(1) 救助・救急体制の整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○救急高度化事業 ・救急隊員の養成や救急救命士の特定行為の資格取得等	—
○救急車両・装備管理業務 ・救急車両・装備の維持管理	—
○通信指令業務 ・通信指令装置の維持管理	—
○消防隊員養成事業 ・消防隊員を養成するための教育訓練機関への派遣	—
○応急知識普及事業 ・応急手当の普及啓発活動（普通救命講習・一般救急講習・応急手当普及員講習）の開催 ・おびひろ救命アシスト事業の推進	—
○救急業務 ・救急救命士が高度な処置を行うための資機材の整備等	—

(2) 救急医療体制の整備

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○救急医療対策事業 ・在宅当番医体制の維持 ・休日夜間急病センターの運営 ・帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・二次救急医療体制の維持 ・休日歯科診療体制の維持	130,068

(3) 救急関係機関の協力関係の確保等

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○救急医療対策事業（再掲） 8P (2) 救急医療体制の整備と同じ	※

4 被害者支援の推進

(1) 交通事故相談活動の充実

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○市民相談室運營業務 ・関係機関や団体と連絡調整をしながら交通事故相談の実施	5,885

(2) 交通事故被害者支援の充実

単位：千円

平成 29 年度 実績	決算額
○交通安全運動推進事業 ・救急医療設備整備、被害者救済の拠点となる病院、施設の指定事業に関する広報活動の実施	8,384 の一部

※印は予算措置はされていませんが、通常業務の中で対応しています。

一印は消防広域化に伴う組織機構の見直しにより、実施主体がとちぎ広域消防事務組合（平成28年4月1日）となったため、個別の事業に対する予算額については記載していません。

2 交通安全対策の実施状況

1 交通安全教育及び広報活動の状況

(1) 交通安全教室の実施状況

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数
幼稚園・保育所・母親サークル	68	5,785	67	5,780	66	5,701	69	5,559	70	5,897
小学校	123	19,548	123	16,793	121	14,236	123	14,394	123	14,321
中学校	2	542	2	492	4	493	2	361	5	720
高校	1	750	1	751	1	701	1	687	1	676
町内会(地域交流会含む)	8	295	11	374	8	272	27	770	17	542
老人クラブ	28	777	27	711	26	671	18	764	19	502
いきいき交流会	10	760	10	646	13	738	13	786	13	733
特別支援学校、障害福祉施設	7	646	7	455	8	752	7	481	7	747
各種イベント	34	2,536	34	4,109	30	4,664	32	5,013	35	5,296
児童保育センター	47	2,603	43	2,183	42	2,054	44	2,130	38	2,077
その他	37	2,760	38	2,786	47	5,672	44	7,259	48	6,570
合計	365	37,002	363	35,080	366	35,954	380	38,204	376	38,081

(資料：市安心安全推進課)

(2) 広報啓発活動

区分	項目	関係機関等	内容
広報紙等を用いた活動	交通事故現場写真展	帯広市交連協、帯広地推	・交通事故現場の写真パネルを展示し、交通事故の悲惨さを訴える。
	交通死亡事故発生時における特別啓発	帯広市交連協、警察	・市内において交通死亡事故が発生した際に、事故現場付近に「交通安全のぼり」を掲出して注意喚起する。
	広報車による広報活動	帯広市交連協	・市交連協広報担当者と市担当者により、市広報車を使用して広報活動を行う。
	ブログを活用した啓発情報の発信	警察、帯広市交連協	・警察から提供される情報や、市と交連協などが連携して行う取り組みの情報を、ブログ「帯広市安全安心ニュース」に掲載して発信する。

(資料：市安心安全推進課)

(3) 交通安全運動

市が主催した取り組みは、次のとおりです。

区分	項目	関係機関等	内容
各地域における活動	交通安全のぼりの掲出	帯広市交連協	・地域において交通安全のぼりを掲出する（通常4月1日～10月31日まで）。
	じゅうたん作戦	帯広市交連協	・交通安全運動期間中などに、交連協23支部の主要交差点において、交通指導員が車両運転者に対し、旗振りなどで歩行者優先の励行など安全運転を促す。 ・この際、市は広報車を使用して、市内全域において広報活動を行う。
	パトライト作戦	帯広市交連協	・毎月15日（道民交通安全の日）のほか、交通安全運動期間中などに、交連協23支部の主要交差点において、車両に装備した赤色灯の回転により注意喚起し、安全運転を促す。 ・この際、市は広報車を使用して、市内全域において広報活動を行う。
集合して行う活動	交通事故抑止総決起大会	帯広市交連協	・秋の全国交通安全運動の時期にあわせ（9月）、関係機関・団体の協力の下、交通安全決意表明等のセレモニーや車両による街頭パレードを行う。
	全市一斉街頭啓発	帯広市安協	・例年10月に市内の関係機関・団体、事業所等の協力のもと、総合体育館前と白樺16条西2丁目（大型店舗北西）の2箇所の交差点において、旗振りによる交通安全啓発を行う。
研修会	交通安全推進委員研修会	帯広市交連協	・各町内会から選出されている交通安全推進委員を対象に、交通安全の講話や、交連協に関する説明を行う。
学校・事業所を対象とした活動	新入学児童交通安全啓発キャンペーン	市教育委員会	・毎年、市内小学校のうち1校を選定し、関係機関・団体の協力のもと、入学式当日、児童玄関前で黄色いランドセルカバーを付けるほか、交通安全啓発資材を配布して、新1年生と保護者に交通安全を呼びかける。
	小学校児童による交通安全のぼりの掲出	帯広市交連協	・交通安全運動期間中において、交連協支部と小学校児童が合同で、自校敷地に交通安全のぼりを掲出する。
	交通安全学校訪問	帯広市交連協、警察	・毎年、夏休みを迎える前（7月中旬）に、市内の大学、専門学校、高校、中学校を訪問し、交通事故防止に関する生徒指導の徹底を要請するほか、意見交換等を行う。
	交通安全農協訪問	帯広市交連協、警察	・毎年、農作物の輸送繁忙期（9月）に、市内の2農協（川西・大正）を訪問し、交通事故防止に関する要請を行う。
高齢者を対象とした活動	老人クラブ交通安全推進員制度	警察、帯広市老連	・単位老人クラブ毎に交通安全推進員を依頼し、クラブ員の交通安全意識向上、マナーの実践を図る。 ・年1回、推進員を対象に研修会を実施する（署の講話など）。
	高齢者無事故運動	警察、帯広市老連	・単位クラブで参加することにより交通安全意識向上を図る狙いで実施。（8月～10月の3ヶ月間、「交通ルールを守った」や「夜出かけるときは反射材を身に着けた」などのポイントで、各会員が達成度を自己診断する運動。優秀な成績の団体を表彰する。）
	高齢者ドライビング体験会	帯広市交連協、帯広市安協	・自家用車や教習車による自動車学校コースの走行や、運転シミュレーター・各種検査等を通じて、運転技能や反射神経等の自己確認をすることにより、交通事故の未然防止に役立てる。
	高齢者交通安全研修会（高齢者交通安全パークゴルフ大会含む）	帯広市交連協、帯広市安協	・交通安全啓発運動の一環として、高齢者の交通安全意識を高揚し交通事故の未然防止を図るため、研修を実施（署の講話など）。パークゴルフは、高齢者がより参加しやすい環境を整えるため併せて実施する。
	高齢者家庭訪問活動	帯広市交連協	・地域の交通安全推進委員が高齢者の家庭を訪問し、夜光反射材の配布や貼付を行う（9～11月）。
	商業施設前における啓発活動（高齢者指導の日）	警察、帯広市交連協、帯広地推	・大型スーパーの入口前にて、高齢者に夜光反射材や啓発チラシの配布を行う。
	金融機関に協力いただく高齢者家庭訪問活動	帯広地推、金融機関	・金融機関職員による得意先回りの際に、高齢者に夜光反射材とリーフレットを配布する。

（資料：市安心安全推進課）

2 道路交通環境の整備

(1) 交通安全施設の整備

交通安全施設等の整備状況は、次のとおりです。

		平成28年4月1日現在				平成29年4月1日現在			
		国道	道道	市道	合計	国道	道道	市道	合計
道路実延長	k m	56.7	143.2	1,400.7	1,600.6	56.7	143.2	1,401.9	1,601.8
歩道	k m	36.9	115.7	899.1	1,051.7	36.9	115.8	900.0	1,052.7
自転車道	k m	0.9	8.6	0.0	9.5	0.9	8.6	0.0	9.5
横断歩道橋	箇所	2	1	0	3	1	1	0	2
地下横断歩道	箇所	0	0	0	0	0	0	0	0
中央帯	k m	15.6	-	22.1	37.7	15.6	-	22.1	37.7
車両停車帯	箇所	-	-	143	143	-	-	143	143
道路照明	基	-	-	4,813	4,813	-	-	4,818	4,818
防護柵	k m	-	-	17.2	17.2	-	-	17.6	17.6
道路標識	本	-	-	2,988	2,988	-	-	2,994	2,994
道路反射鏡	本	-	-	24	24	-	-	24	24

(資料：帯広開発建設部、十勝総合振興局、市管理課)

注) 国道・道道の車両停車帯等は路線別に管理されているため不明である。

帯広市の道路延長の整備状況は、次のとおりです。

		平成28年4月1日現在					平成29年4月1日現在				
		国道	主要道道	一般道道	市道	合計	国道	主要道道	一般道道	市道	合計
路線数		3	6	13	3,182	3,204	3	6	13	3,195	3,217
実延長	改良済未	56.7	55.0	88.3	1,400.6	1,600.6	56.7	55.0	88.3	1,401.9	1,601.9
	規格改良済延長	56.7	55.0	88.3	1,231.3	1,431.3	56.7	55.0	88.3	1,232.7	1,432.7
	改良内訳	0.0	0.0	0.0	169.3	169.3	0.0	0.0	0.0	169.3	169.3
	未改良延長	0.0	0.0	0.0	169.3	169.3	0.0	0.0	0.0	169.3	169.3
	道路延長	53.4	52.8	86.9	1,393.9	1,587.0	53.4	52.8	86.9	1,395.2	1,588.3
	種類	59	35	30	314	438	59	35	30	314	438
	別	3.3	2.2	1.4	6.7	13.6	3.3	2.2	1.4	6.7	13.6
	延長	0.0	0.2	0.0	176.4	176.6	0.0	0.2	0.0	175.8	176.0
	舗装道	56.7	54.8	88.3	1,224.2	1,424.0	56.7	54.8	88.3	1,226.1	1,425.9
	舗装道延長	56.7	54.8	88.3	1,224.2	1,424.0	56.7	54.8	88.3	1,226.1	1,425.9
交通不能延長	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
改良率		100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	-	100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	-
舗装率		100.0%	99.6%	100.0%	87.4%	-	100.0%	99.6%	100.0%	87.5%	-

(資料：帯広開発建設部、十勝総合振興局、市管理課)

注) 四捨五入の関係で合計は一致しない場合がある。

除雪延長の状況は、次のとおりです。

		平成28年度			平成29年度		
		道路実延長	除雪延長	除雪率	道路実延長	除雪延長	除雪率
国道	k m	56.7	56.7	100.0%	56.7	56.7	100.0%
道道	k m	143.2	142.3	99.4%	143.2	143.2	100.0%
市道	k m	1,400.6	1,350.5	96.4%	1,401.9	1,351.7	96.4%
合計	k m	1,600.5	1,549.5	96.8%	1,601.8	1,551.6	96.9%

(資料：帯広開発建設部、十勝総合振興局、市道路維持課)

自転車道等の状況は、次のとおりです。

		平成28年4月1日現在					平成29年4月1日現在				
		自転車道	自転車歩行者道	自転車歩行者専用道路	自転車道と歩道	合計	自転車道	自転車歩行者道	自転車歩行者専用道路	自転車道と歩道	合計
国道	k m	0.0	-	0.0	0.9	0.9	0.0	-	0.0	0.9	0.9
道道	k m	0.0	-	8.6	0.0	8.6	0.0	-	8.6	0.0	8.6
市道	k m	0.0	506.7	7.3	0.0	514.0	0.0	509.4	7.3	19.7	536.4
合計	k m	0.0	506.7	15.9	0.0	522.6	0.0	509.4	15.9	20.6	545.9

(資料：帯広開発建設部、十勝総合振興局、市管理課)

注) 国道・道道の自転車歩行者道は路線別に管理されているため不明である。

(2) 交通規制の状況

公安委員会による交通規制の状況は、次のとおりです。

平成29年3月末現在		
	区間	距離 (m)
歩行者利用道路	0	0
車両通行禁止	17	11,572
一方通行	42	9,285
最高速度	211	202,580
右側はみ出し通行禁止	4	6,250
駐(停)車禁止	230	155,952
転回禁止	3	3,420
バス専用・優先通行帯	0	0
自転車歩道通行可	12	31,400
普通自転車の歩道通行部分の指定	4	8,280
一時停止		2,004箇所
横断歩道		1,745箇所
自転車横断帯		-
踏切通行禁止		-
信号機		541基

(資料：帯広警察署)

帯広市内の道路別の信号機設置状況は、次のとおりです。

平成29年3月末現在		
	道路実延長 (km)	信号機 (基)
国道	56.7	83
道道	143.2	130
市道	1,401.9	328
合計	1,601.8	541

(資料：帯広警察署)

注) 道路延長は、平成29年4月1日現在

(3) 公共交通機関の利用促進

ア バス生活路線維持費補助金額

市では、生活に必要な路線バスのうち不採算路線を対象に国や道と連携して補助金を交付しています。

(単位：千円)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
補助金額	46,463	74,072	83,035	83,088	92,195

(資料：商業まちづくり課)

イ バス輸送人員数 (十勝管内)

※ バス輸送人員数は、十勝管内で路線バスを運行している十勝バス及び北海道拓殖バス2社の一般乗合旅客自動車運送人員を合計したものです。

(単位：千人)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人数	4,506	4,522	4,463	4,403	4,494

(資料：商業まちづくり課)

ウ 高齢者おでかけサポートバス事業の交付実績

(単位:人)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
高齢者バス無料乗車証を持つ方	16,934	18,049	18,869	19,990	21,027

(資料:高齢者福祉課)

※ 再発行数を除いた当該事業対象者(管理番号にて管理)への乗車証の発行枚数の各年度末までの累計値(23,845枚)から、各年度末時点の資格喪失者(転出、死亡など、帯広市民でなくなった方)を除いた数値。

エ バス整理券回収枚数

高齢者おでかけサポートバス事業における十勝バス株式会社及び北海道拓殖バス株式会社のバス整理券回収枚数は下表のとおりです。

(単位:枚)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
バス整理券回収枚数	935,737	981,199	955,020	921,331	942,181

(資料:高齢者福祉課)

(4) 路上駐車排除及び道路使用の適正化

駐車場の整備を促進するため、市では、昭和48年より駐車場法(昭和32年法律第106号)に基づく駐車場整備地区を指定しており、駐車需要の大きな発生源である建築物に対しては条例により、一定規模の駐車施設の附置を義務づけています。その他、降雪時期を迎える前に広報紙等による啓発を行っています。

(5) 子どもの遊び場等の確保

帯広市内における都市公園等の設置状況は、次のとおりです。

(平成30年3月末現在)

公園種別	箇所数	面積 (ha)	備考
住区基幹公園	161	103.65	街区(140)、近隣(16)、地区(5)
都市基幹公園	3	586.66	総合(2)、運動(1)
都市緑地	33	37.26	都市緑地(33)
特殊公園	3	27.71	墓園(3)
合計	200	755.28	

(資料:市みどりの課)

(6) 踏切の状況

踏切の整備状況は、次のとおりです

(平成29年3月末現在)

踏切名	道 路	保安設備の状況	備 考
10号団地踏切	市道西10号南線(栄通)	遮断機(6)・警報機(3)・セーフティポール(4) 踏切支障報知装置手押し(2)・特殊信号発光機(3)	歩道片側 立体交差化(アンダーパス)は事業計画未定
西11号踏切	市道西11号南甲線	遮断機(4)・警報機(2)・セーフティポール(4) 踏切支障報知装置手押し(2)・特殊信号発光機(2) 大型支障物検知装置 [*] (1)	歩道両側
A団地踏切	道道川西芽室音更線(西帯通)	遮断機(4)・警報機(2)・セーフティポール(4) 踏切支障報知装置手押し(2)・特殊信号発光機(2)	歩道両側 立体交差化(オーバーパス)は事業計画未定
B団地踏切	市道西14号南乙線	遮断機(4)・警報機(2)・セーフティポール(4) 踏切支障報知装置手押し(2)・特殊信号発光機(2)	歩道両側

(資料:JR北海道、市都市計画課)

注) ()内の数値は箇所数

3 救助・救急活動の状況

(1) 救急業務実施体制の状況

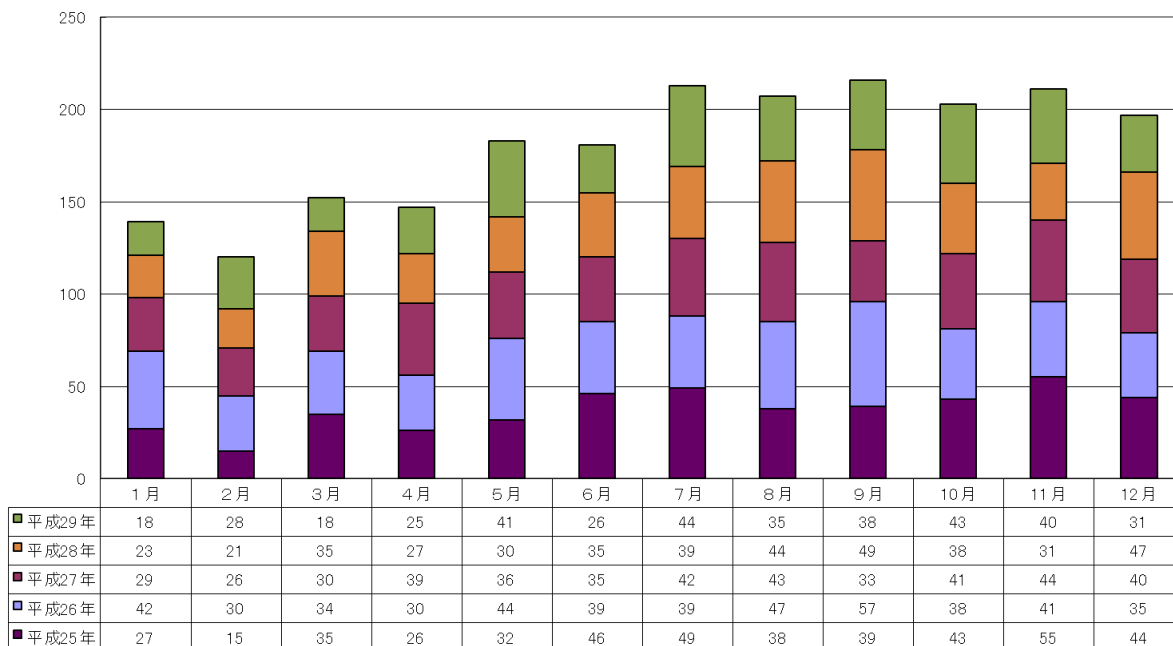
市の救急隊員数及び救急自動車保有台数の推移は、次のとおりです。

	救急自動車台数	救急隊員数(人)
平成25年	6	79
平成26年	6	76
平成27年	6	76
平成28年	6	82
平成29年	6	83

(資料：市消防推進室)

交通事故に伴う救急業務活動の推移は、次のとおりです。出動件数は平成26年より減少しています。7月から12月に件数が増加する傾向にあります。

交通事故に伴う救急業務活動の推移(出動件数)

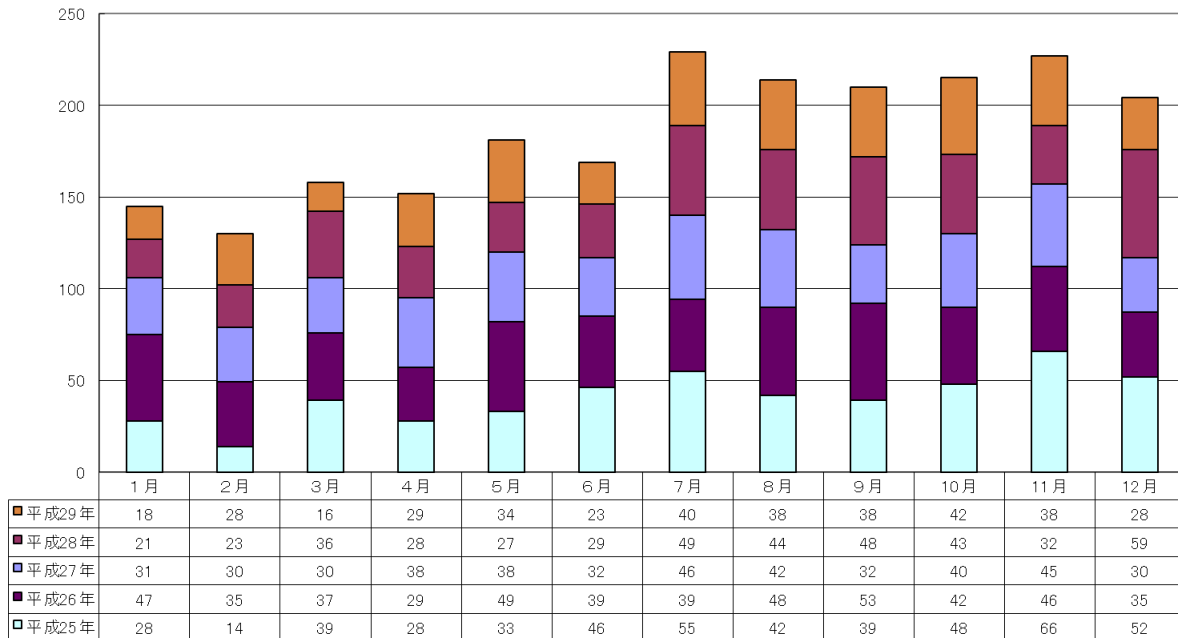


	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
出動件数	449	476	438	419	387

(資料：市消防推進室)

搬送人員は、平成 25 年から 500 人以下で推移しています。7 月から 12 月にかけて増加する傾向にあります。

交通事故に伴う救急業務活動の推移(搬送人員)



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
搬送人員	490	499	434	439	372

(資料:市消防推進室)

市消防で行った普通救命・一般救急講習は、次のとおりです。

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数
普通救命講習	72	2,081	90	2,392	98	2,621	83	2,305	103	2,447
一般救急講習	136	5,703	178	6,118	147	7,344	157	6,652	155	6,209

(資料:市消防推進室)

(2) 救急医療機関の状況

ア 救急告示病院の状況

救急隊により搬送される傷病者に対し医療を行う医療機関として、救急告示病院があります。市内の告示医療機関は、帯広第一病院、帯広厚生病院、帯広協会病院、開西病院、協立病院、北斗病院、黒澤病院及び国立病院機構帯広病院の合計8箇所となっています。

イ 救命救急センター等の整備

交通事故の発生状況にかんがみ、救急医療の確保を図るため、救急病院の機能充実を図るとともに、頭部損傷等の重篤救急患者に対し、救命医療を行う救命救急センター運営への支援など、各種施策を推進しています。

初期救急医療	夜間急病センター	1箇所
	在宅当番医制	全市域
二次救急医療	病院群輪番制	全市域
三次救急医療	救命救急センター	1箇所

ウ 血液事業の現況

市民の献血に対する理解と協力が得られるよう、関係機関と連携して年間を通じて市民への広報活動等を行うほか、減少している若年層の献血者や血液が不足する冬期間の献血者を確保するため、「北海道はたちの献血キャンペーン」等を通じて、普及啓発に努めています。市内における血液センター、移動献血車の配置状況及び献血及び供給状況の推移は次のとおりです。

(血液センター)

北海道釧路赤十字血液センター帯広出張所 献血ルーム
(東7条南9丁目13番地4号)

(移動献血車) 1台

(献血及び供給状況)

	献血者数(人)	
	200ml	400ml
平成25年度	2,823	8,171
平成26年度	1,928	8,230
平成27年度	1,383	8,281
平成28年度	782	8,332
平成29年度	490	7,558

(資料:北海道釧路赤十字血液センター帯広出張所、市健康推進課)

4 被害者支援の状況

(1) 市民相談室

市では、昭和 35 年に市民相談室を設置して以来、市民の日常生活における様々な悩み事や心配事の相談を受け、問題解決のための適切な助言に努めています。

なお、交通事故による損害賠償の額が適正かどうか、また、示談の仕方が知りたいなどの専門的な相談の場合、道の行う交通事故巡回相談を紹介しています。紹介実績と巡回相談の件数は、それぞれ次のとおりです。

市民相談室において巡回相談を紹介した件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
交通事故	25件	33件	33件	23件	6件

(資料：市市民活動推進課)

十勝総合振興局巡回交通相談件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
巡回相談	17件	17件	22件	13件	18件

(資料：十勝総合振興局)